

2024年8月16日

各 位

株式会社三井住友銀行

SMBCCNにおけるサステナビリティ・リンク・パンダ債の初引受及び投資について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下「三井住友銀行」）は、中国現地法人である三井住友銀行（中国）有限公司（社長：横畑 大、以下「SMBCCN」）において、お客さまの ESG/SDGs への取組サポートを目的として、初めてのサステナビリティ・リンク・パンダ債の引受及び投資を実施しました。

2024年7月12日、凱徳商用産業財資有限公司（以下、「凱徳商用財資」）が、サステナビリティ・リンク・パンダ債を発行しました。本パンダ債は、シンガポール登記の企業を発行体として、国際基準「サステナビリティ・リンク・ボンド原則（※1）」に基づき発行され、SMBCCN は引受シンジケート団のメンバーとして、引受及び投資を実施しました。

サステナビリティ・リンク・ボンド（以下「SLB」）は、発行体のESG戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPTs」）を設定し、表面利率条件とSPTsに対する発行体のパフォーマンスとを連携させ、SPTs達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動及び経済成長を促進し、支援することを目指す融資ツールです。

本債券は、凱徳商用産業有限公司（以下、「凱徳商用」）が中国における管理物件のエネルギー消費指標（テナント分を除く）をSPTsとして掲げ、認証されたものとなります。凱徳グループは、サステナブルファイナンスを通じ、更なる持続可能な発展に努め、凱徳 2030 年のサステナブルプランで掲げる目標を達成するために邁進していきます。

尚、本債券は「サステナビリティ・リンク・ボンド原則」に基づき、外部認証機関である中誠信緑金融科技（北京）有限公司（※2）より発行前にセカンド・パーティー・オピニオンを取得しております。

凱徳はグローバル展開している企業の中で、温室効果ガス削減目標 SBTi (Science Based Targets initiative) 1.5° C の認定を取得している数少ないシンガポール系企業のうちの一社です。今回の凱徳商用財資による SLB 発行の成功は、本グループのサステナビリティへの積極的な関与を示すだけでなく、他の発行体が中国債券市場に参入する模範ともなりました。また、市場が本グループの持続可能な発展への取組姿勢を高く評価していることに加え、三井住友銀行としても、お客さまの持続可能な経済活動への強い支援を示しています。

三井住友銀行及び SMBCCN では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の発展に積極的に貢献してまいります。

(※1) サステナビリティ・リンク・ボンド原則

International Capital Market Association (ICMA) が公表するソーシャルボンドに対する国際的な指針です。ICMA は、1968 年に欧州で設立され、世界 60 以上国以上の金融機関、法律事務所等を中心に約 550 の会員から成る協会です。当協会は、持続可能な経済の成長と発展に必要な安定的な資金提供を後押しし、国際債券市場の健全性と機能性を維持するだけでなく、グローバルに一貫したクロスボーダー債券市場を継続的に支援しています。

(※2) 中誠信緑金科技（北京）有限公司 (CCXGF)

CCXGF は、中誠信集団のグリーン金融サービス専門の子会社です。中国国内のグリーン金融システムの構築にいち早く携わった第三者機構の一つであり、専門的かつ独立性のあるグリーン金融評価とコンサルティングサービスを提供しています。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
サステナブルソリューション部
TEL : 03-4333-6967

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。